

長法寺遺跡

第2次発掘調査

2006.3

鈴鹿市考古博物館



遠景 (東から)



調査区全景 (垂直)

例言

1. 本書は、鈴鹿市長法寺町に所在する長法寺遺跡の発掘調査報告である。
2. 発掘調査は、社会福祉法人博愛会の特別養護老人ホームの増築に伴う事前調査として同施設の依頼により鈴鹿市文化振興部考古博物館が実施した。
3. 調査にかかる費用は社会福祉法人博愛会が負担した。
4. 調査の体制は、下記により実施した。

調査主体 鈴鹿市

調査担当 鈴鹿市文化振興部 鈴鹿市考古博物館

(組織および構成)

鈴鹿市考古博物館館長 中森成行

埋蔵文化財グループリーダー 藤原秀樹

埋蔵文化財グループ副主幹 宮崎正光

副主査 田中忠明 小倉整

事務吏員 伊藤淳

嘱託 吉田真由美 林和範 服部英世 小西絵美

臨時職員 杉本恭子 永戸久美子 長田裕美 別府智子

5. 調査は、上記係員のうち、藤原、吉田が担当し、服部、小西の協力を得た。
6. 現地での調査期間は平成 17 年 4 月 25 日～平成 17 年 7 月 6 日である。
7. 本書の執筆・編集は藤原の指導のもと、吉田が担当した。石器の実測についてはアイシン精機株式会社に委託した。
8. 座標は世界測地系（測地成果 2000）を用いている。
9. 遺構番号は遺構の性格を示す記号の後ろに調査次数を示す 02 をつけ、発見順に番号を与え、4 桁で示した。ただし、方形周溝墓は 1 次調査からの通し番号で、2 桁で示した。
SD：溝 SK：土坑 SX：方形周溝墓・土壙墓
10. 本調査にかかる遺物・図面・写真はすべて鈴鹿市考古博物館が保管している。
11. 調査及び報告書刊行にあたっては地元各位をはじめ、下記の方々のご指導・ご協力を得た。記して感謝申し上げます。

社会福祉法人博愛会 田中正明 塩川由華 牧泰造・長法寺町自治会・新田剛

目次

I. はじめに	1	III. まとめ	3
II. 遺構と遺物	2		

図版目次

Plate 1 遺構平面図（1：200）	4	Plate 6 出土遺物（土器 1:4 石器 2:3）	9
Plate 2 方形周溝墓	5	Plate 7 遺構写真	10
Plate 3 方形周溝墓	6	Plate 8 遺構写真	11
Plate 4 遺構断面図	7	Plate 9 遺構写真	12
Plate 5 出土遺物（1：4）	8	Plate 10 遺物写真	13

カラー図版

Color Plate 遠景（東から） 調査区全景（垂直）

表目次

Tab. 1 遺物観察表	3	Tab. 2 報告書抄録	14
--------------	---	--------------	----

Ⅱ．遺構と遺物

今回、老人福祉施設増築に伴い、発掘調査を行った。調査地は老人福祉施設の既設の建物の北西、台地の西縁に位置し、北から南へと緩やかに傾斜している。調査区は、平成9年度に実施した1次調査・Ⅲ区の西側の一部が重複する。

1. 遺構

方形周溝墓 SX04 (Plate2) 1次調査では周溝の東辺と北辺、南辺の一部を検出した。今回、西辺を検出した。方形周溝墓の規模は内法で東西 9.6 m×南北 11.4 mを測る。周溝 SD0208 は検出面での幅 4 m、深さ 0.7 mを測り、断面形は逆台形状を呈し、南肩は浅く皿状を呈する。弥生土器が少量出土し、周溝の上層部からは須恵器片も出土している。方形周溝墓 SX07 と周溝 SD0208 を共有する。

方形周溝墓 SX05 (Plate3) 1次調査では周溝の東辺を検出し、今回、その続きにあたる周溝 SD0206 (北辺・西辺・南辺)・SD0211(南辺)を検出した。方形周溝墓の規模は内法で東西 8.5 m×南北 9.0 mを測り、北東隅、南辺の中央が途切れる。周溝 SD02

06 は検出面での幅 1.2～1.9 m、深さ 0.2～0.4 mを測る。西側は削平のため浅い。また、北角では溝が一部浅くなっている。東辺からはほぼ完形の細頸壺 (1) が横に倒れた状態で出土している。周溝 SD02

11 は検出面での幅 1.5～1.7 m、深さ 0.2～0.35 mを測る。

土壌墓 SX0207 (Plate3) 方形周溝墓 SX05 の周溝内で検出し、周溝 SD0206 の西辺にほぼ並行する。方形周溝墓に伴う墓壙であるかは不明である。

方形周溝墓 SX06 (Plate3) 調査区の北側で今回新たに検出した方形周溝墓である。内法で東西 5.3 m×南北 6 mの規模を測る。周溝 SD0201・SD0202

・SD0203 に東・西・南を囲まれ、北溝は調査区外に続く。東周溝 SD0201 は幅 1.0～1.5 m、深さ 0.3～0.5 mを測り、溝の中央が深くなっている。周溝中層からまとまって弥生土器甕・壺 (14, 18～20, 25) が出土し、下層からも弥生土器壺 (2, 610) が出土した。西周溝 SD0202 は幅 0.9 m、深さ 0.2～0.35 mを測る。周溝の南でやや深くなり、中層から倒立した状態で置かれたと考えられる弥生土器甕 (10) が出土した。南周溝 SD0203 は施設駐車場の排水溝によって上層部が破壊されていたが、わずかにその痕跡をとどめ、検出面での幅は 0.8 m、深さ 0.2 mを測る。

方形周溝墓 SX07 (Plate) 方形周溝墓 SX04 の南で検出した。周溝の東辺 (SD0209)、西辺 (SD0210) を検出したが、南辺は検出に至らなかった。周溝 SD0209 は幅 0.9～1.2 m、深さ 0.2～0.35 mを測り、周溝 SD0210 は幅 0.6～1.4 m、深さ 0.2 mを測る。内

法で東西は 4.6～4.9 mの規模を測る。南北は周溝が途切れるところまで 6～6.5 mを測る。北辺は方形周溝墓 SX04 の西辺にあたる周溝 SD0208 を共有する。周溝 SD0208 は断面が逆台形状を呈し、南肩が皿状に浅くなる。溝を共有するとはいえ、おそらく南肩の浅い部分が方形周溝墓 SX07 に伴うと思われる。周溝 SD0208 の南肩、SD0209、SD0210、それぞれの周溝の中央からはややまとまって弥生土器が出土している。周溝 SD0209 の中央では弥生土器壺 K22 が出土し、その土器の下から磨製石斧 (38) が出土している。

溝 SD0222 (Plate) 幅 1.0 m、深さ 0.1 mを測り、周溝 SD0206 と重複する。出土遺物は弥生土器 1 点と石器 (28) である。

2. 遺物

弥生土器 方形周溝墓周溝内から弥生時代中期中葉から後葉にかけての壺・甕・ミニチュア土器 (14) が出土した。壺 受口状口縁の太頸壺 (), 細頸壺 (), 口縁部が大きく開く広口壺 () がある。受口状口縁太頸壺、細頸壺の口縁端部外面には櫛状工具による連続刺突文 (2, 5) やヘラ状工具による格子文 (4) が施される。3 の口縁端部はやや内傾し、頸部から肩部にかけて櫛描直線文を施す。1 は口縁部がかすかに受口状に屈曲する。頸部・肩部に櫛描直線文を施し、直線文の間にヘラ描きによる格子文を施す。広口壺 10, 9 は口縁部内面に瘤状突起をもつもので、10 は 3 個一対で、9 は 2.5～3 cm 間隔で突起を巡らせ、口縁部端面に刺突文を施す。6, 11 は頸部のみの破片で、タテハケ調整後、ヘラ描き沈線文を 3 条施す。11 はさらに竹管状工具による円形の刺突文を施す。12 は体部片で貝殻による刺突文、直線文、格子文を施し、格子文部分には棒状浮文を貼り付ける。

甕 口縁部はくの字状に短く外反し、やや厚みを持ち、端面下部のみ (15, 16, 21～23)、もしくは端面上下 (17, 19) に刻目を施すが、口縁端部刻目をもたないもの (24) もある。口縁部内面は主に横方向のハケ調整を施す。体部の張りは弱く、口径を超えるものは少ない。体部外面は縦方向のハケによる調整後、頸部に櫛描直線文、ヘラ描沈線文を施す。体部内面はナデ調整を施す。底部 (20, 25) は平底である。

石器 方形周溝墓、溝、攪乱土坑等から石鏃・楔形石器 (36)・搔器 (35)・磨製石斧・剥片 (34) が出土した。

石鏃 平基式 (26～28, 30, 31)、凹基式 (29)、凸基式 (32) のものがある。石材は 28 のみ下呂石でその他はサヌカイトである。

磨製石斧 (38) 断面の形状は楕円形で側縁は刃部に向かってやや幅広くなる。石材は伊勢湾周辺地域で弥生時代中期以降、主に磨製石斧として用いられるハイアロクラスタイトである。

Ⅲ. まとめ

2次にわたる発掘調査で弥生時代中期の方形周溝墓を7基検出した。今回の調査では1次調査で検出した方形周溝墓SX04・SX05の周溝の続きを検出し、新たに方形周溝墓2基を検出したが、方形周溝墓SX03の続きは検出に至らなかった。

近接する方形周溝墓群の中で、方形周溝墓SX03, SX04, SX05, SX07はおおむね同じ方位をとるが、方形周溝墓SX06は方位が異なる。方形周溝墓SX06はやや南に離れて位置する方形周溝墓SX01, SX02(第1次調査I区)とおおむね同じ方位をとり、大きく2グループに分けられるが、出土遺物に明確な時期差はなく、前後関係は不詳である。ただし、方形周溝墓群のSX05の東隅はやや歪み、その北東に位置する方形周溝墓SX06を避けたとも考えられ、方形周溝墓SX06→方形周溝墓SX05の順に築造された可能性が考えられる。

1次調査では方形周溝墓周溝からの土器の出土量は少なく、また、細片が多く、墓に供献された土器とは考えがたい状況であったが、今回、方形周溝墓SX05周溝SD0206から完形の細頸壺、方形周溝墓SX06周溝SD0202から倒立した状態で置かれていたと考えられる甕が出土し、周溝SD0201, 方形周溝墓SX07周溝から完形ではないが、まとまって出土しており、墓に供献されたものと考えられる。

この地に墓域を形成した人々の集落については台地の周辺に存在したと考えられる。

これまで中ノ川流域では弥生時代の遺跡の発見例が少なく、貴重な成果が得られた。

【参考文献】

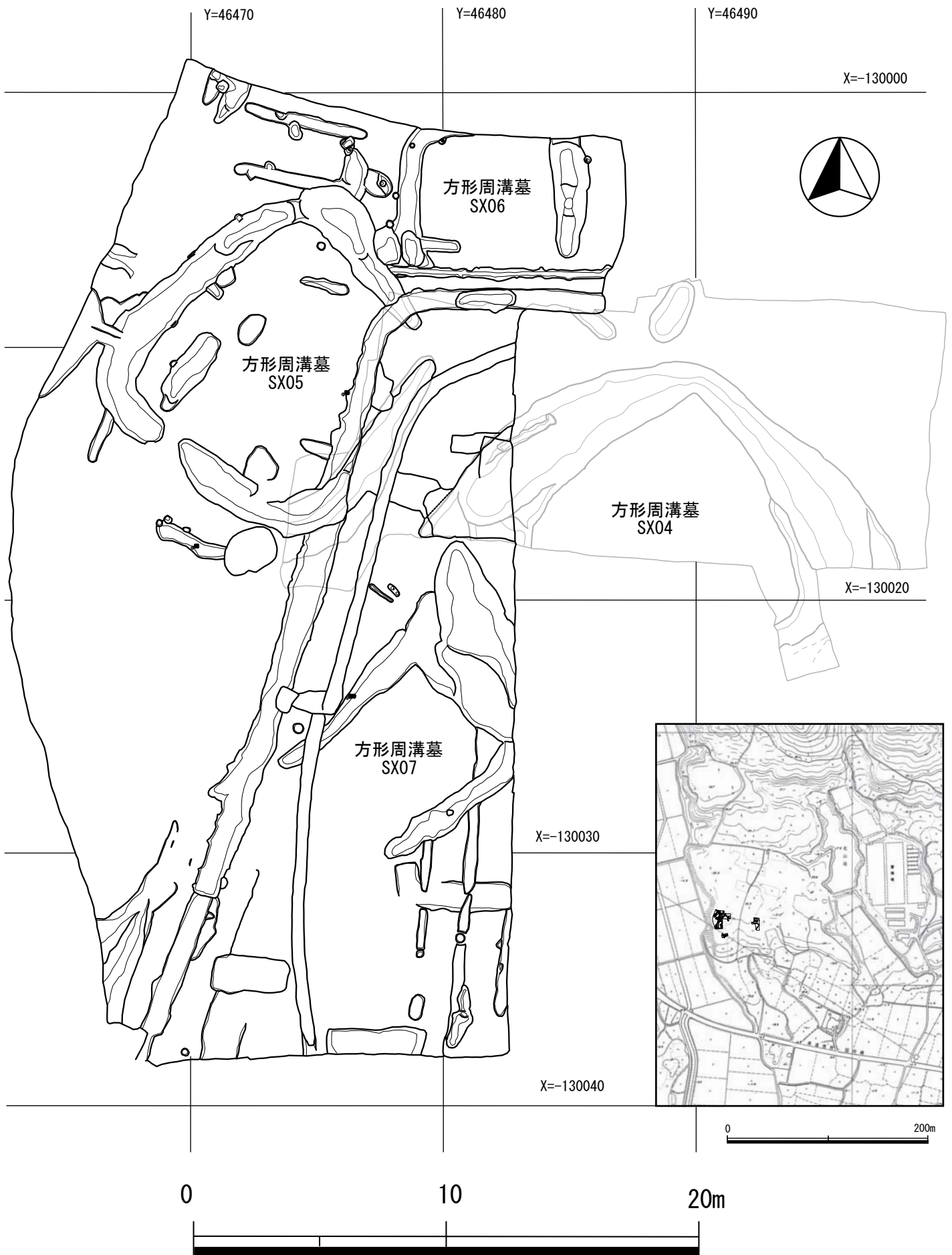
- 藤原秀樹 1998「長法寺遺跡」『鈴鹿市埋蔵文化財調査年報V』鈴鹿市教育委員会
- 鈴鹿市教育委員会 1980『鈴鹿市史』

Tab.1 遺物観察表

図版番号	図形	調査区名	遺構・層位	観察・技法の特徴	体部	法量 (cm)			残存	胎土	焼成	色調	備考
						口徑	底徑	高さ					
1	壺	E-4	SD0206 ②層	外 調整不明/直線文・ヘラ描 内 調整不明/シボリ痕	體描直線文 ナデ?・ユビオサエ?	5.9	4.35	21.35	完形	密/φ 2~3mmの白い砂粒を多く含む	軟	10YR6/4	體部直線文を施す際の土器の回転方向は右
2	壺	G・H-3	SD0201 ①層	外 調整不明/シボリ痕 内 ナデ/シボリ痕・調整不明	體部直線文	(9.75)	—	(8.9)	口縁部のみ	粗/φ 2~3mmの白い砂粒を多く含む	軟	7.5YR7/6	
3	壺	B-5	SD0207 ①層	外 調整不明/シボリ痕 内 調整不明	體部直線文	4.7	—	(9.9)	口縁部 完形 体部上半 約1/5	やや粗/φ 1mm前後の砂粒を多く含む	軟	7.5YR6/6	
4	壺	F・G-9	SD0208 ①層	外 調整不明/シボリ痕 内 ハケ	體部直線文	(21.2)	—	(4.8)	口縁部 1/8	密/φ 2~3mmの砂粒を多く含む	軟	7.5YR5/6	
5	壺	E-3	SD0202 ②層	外 調整不明/シボリ痕 内 調整不明	體部直線文・キザミ/調整不明	(17.7)	—	(5.9)	口縁部 約1/4	粗/φ 2~3mmの砂粒を多く含む	軟	10YR8/6	
6	壺	G・H-3	SD0201 ①層	外 調整不明/シボリ痕 内 調整不明	體部直線文	—	—	—	口縁部 約2/5	密/φ 2~3mmの砂粒を多く含む	軟	7.5YR6/6	おおむね良好
7	壺	F-11	SD0209 ②層	外 調整不明/シボリ痕 内 調整不明	體部直線文	(9.65)	—	(9.7)	口縁部のほか体部約1/8 残るが実測不可	やや密/φ 0.5mm前後、φ 2~3mm前後の白い砂粒を含む	軟	5YR7/6	
8	壺	F・H-11	SD0209 SW ①層	外 調整不明/シボリ痕 内 調整不明	體部直線文	—	—	(5.6)	口縁部 約1/6	やや密/φ 0.5~1mmほどの白い砂粒を含む	軟	5YR6/6	
9	壺	E-3	SD0206 ②層	外 調整不明/シボリ痕 内 調整不明	體部直線文	(22.2)	—	(3.5)	口縁部 約1/4	密/φ 0.5mmほどの白い砂粒を含む	やや軟	10YR6/4	
10	壺	G・H-3	SD0201 ①層	外 調整不明/シボリ痕 内 調整不明	體部直線文	(18.5)	—	(5.1)	口縁部 約1/6	やや密/φ 3~5mmほどの細礫を少量含む	軟	10YR8/4	
11	壺	G・H-3	SD0201 ②層	外 調整不明/シボリ痕 内 調整不明	體部直線文	—	—	(10.3)	口縁部のみ	密/φ 1mmの砂粒を少量含む	軟	5YR7/6	
12	壺	F-4	SD0203 ①層	外 調整不明/シボリ痕 内 調整不明	體部直線文	—	—	—	不明	密/φ 0.5~1mmの白い砂粒を含む	軟	7.5YR5/4	おおむね良好
13	壺	C-3	SD0206 ①層	外 調整不明/シボリ痕 内 調整不明	體部直線文	—	—	(4.2)	不明	密/φ 0.5mm前後の白い砂粒を多く含む	軟	7.5YR5/4	おおむね良好
14	三つ子7-壺	G・H-3	SD0201 ②層	外 調整不明/シボリ痕 内 調整不明	體部直線文	—	—	(3.0)	体部~底部 約1/2	密/砂粒を含む	やや軟	10YR6/4	
15	壺	E-3・E-4	SD0202 ②層	外 調整不明/シボリ痕 内 調整不明	體部直線文	16	4.95	(20.4)	体部中央を欠く	密/φ 1mm前後の砂粒を含む	軟	7.5YR6/4 内: 7.5YR6/6	体部外面に煤付着
16	壺	A・B-5	SD0206 ②層	外 調整不明/シボリ痕 内 調整不明	體部直線文	(20.8)	—	(4.1)	口縁部 約1/8	密/φ 0.5mm前後の砂粒を含む	やや軟	10YR7/3	
17	壺	B・C-7	SD0222 ①層	外 調整不明/シボリ痕 内 調整不明	體部直線文	(19.8)	—	(4.7)	口縁部 約1/3	密/φ 0.5~1mmほどの白い砂粒を含む	軟	10YR7/4	
18	壺	G・H-3	SD0201 ①層	外 調整不明/シボリ痕 内 調整不明	體部直線文	(20.8)	—	(4.5)	口縁部 約1/4	密/φ 0.5mm前後の砂粒を少量含む	軟	10YR5/3	おおむね良好
19	壺	G・H-2・3	SD0201 ②層	外 調整不明/シボリ痕 内 調整不明	體部直線文	(18.8)	—	(13.3)	口縁部 約1/3 体部上半約1/6	密/φ 1mmほどの砂粒を少量含む φ 4mmほどの細礫もわずかに含む	軟	10YR6/3	おおむね良好
20	壺	G・H-3	SD0201 ①層	外 調整不明/シボリ痕 内 調整不明	體部直線文	—	—	(5.0)	体部下半~底部 約1/2	密/φ 0.5~1mmほどの砂粒を含む	やや軟	7.5YR6/4	同一個体の可能性のある破片あり
21	壺	G・H-3	SD0201 ②層	外 調整不明/シボリ痕 内 調整不明	體部直線文	(17.2)	—	(10.1)	口縁部 約1/8 体部上半 約1/4	やや密/φ 1~2mmの砂粒を多く含む	軟	7.5YR6/6	
22	壺	H-2	SD0201 ②層	外 調整不明/シボリ痕 内 調整不明	體部直線文	(12.2)	—	(10.1)	口縁部から体部上半 約1/5	やや粗/φ 1~2mmほどの砂粒を多く含む	軟	7.5YR8/6	体部外面に煤付着
23	壺	E-9	SD0210 ①層	外 調整不明/シボリ痕 内 調整不明	體部直線文	(23.2)	—	(10.2)	口縁部 約1/2 体部約1/7	密/φ 0.5~2mmほどの白い砂粒を多く含む	軟	5YR6/6	体部外面に煤付着
24	壺	G・H-3	SD0201 ①層	外 調整不明/シボリ痕 内 調整不明	體部直線文	(14.6)	—	(5.15)	口縁部 約1/3	密/φ 1mm未満の砂粒を少量含む	軟	7.5YR7/6	
25	壺	G・H-2・3	SD0201 ②層	外 調整不明/シボリ痕 内 調整不明	體部直線文	3.4	—	(3.2)	底部のみ	密/φ 1mm未満の砂粒を含む	やや軟	5YR5/4	

図版番号	種類	調査区名	遺構・層位	法量 (cm/g)				石材	備考
				長さ	幅	厚さ	重量		
26	石籤	C-7	SD0211 ①層	2.90	1.70	0.45	1.6	サヌカイト	
27	石籤	B-4	SD0206 ②層	1.85	1.20	0.40	0.8	サヌカイト	
28	石籤	B・C-7	SD0222	(1.80)	1.30	0.40	0.8	下呂石	
29	石籤	B-5	SX0207 ①層	(1.70)	1.35	0.20	0.3	サヌカイト	
30	石籤	C-6	攪丸	1.45	0.90	0.15	0.2	サヌカイト	
31	石籤	E-9	SD0210	(1.55)	1.30	0.45	0.7	サヌカイト	
32	石籤	C-7	SD0211 ②層	(2.20)	1.25	0.25	0.8	サヌカイト	
33	石籤	G・H-3	S D 0201 ②層	(2.50)	1.60	0.30	1.2	サヌカイト	
34	剥片	G・H-3	S D 0201 ②層 サブトレ南	1.90	1.90	0.40	1.7	水晶	
35	搔器	G・H-3	S D 0201 ②層	2.85	0.80	0.40	0.9	サヌカイト	
36	楔形石器	E-9	SD0210	2.25	1.75	0.50	2.1	サヌカイト	
37	剥片	E-9	SD0210	(2.00)	1.20	0.40	0.8	サヌカイト	
38	磨製石斧	F-11	SD0209 ②層 No.14	12.40	6.40	3.80	465.8	ハイアロクラストイト	

Plate 1



遺構平面図 (1 : 200) ・ 調査区位置図 (1 : 1, 250)

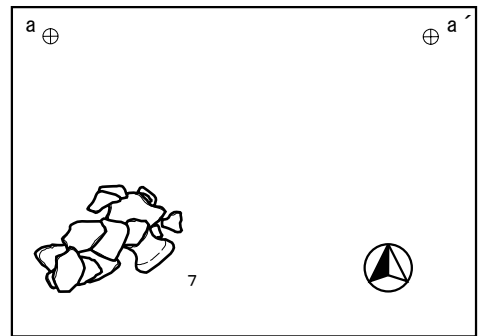
X=-130020

方形周溝墓
SX04

Y=46490



周溝SD0208



X=-130030

周溝SD0210

周溝SD0209

方形周溝墓
SX07

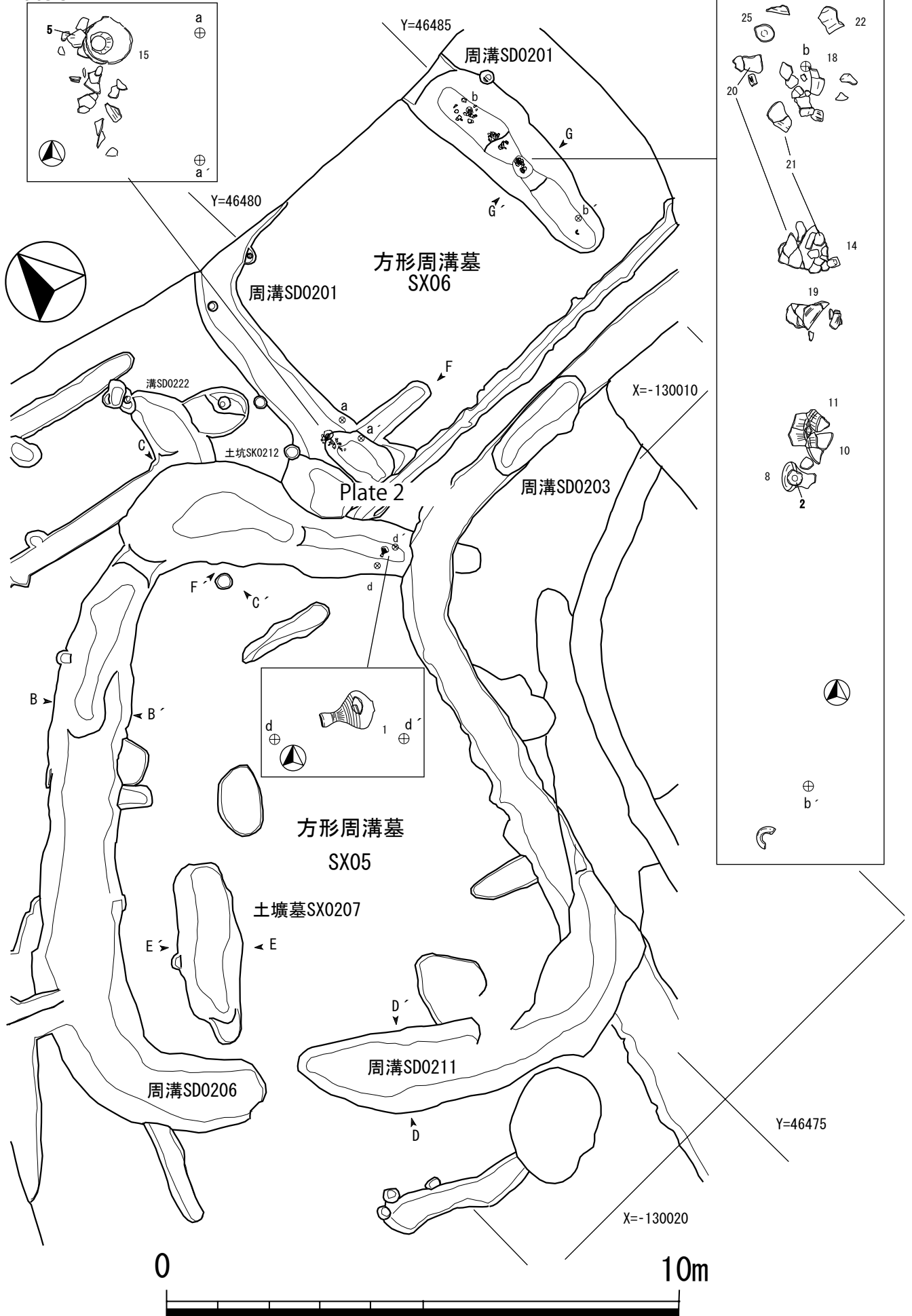
Y=46480

0

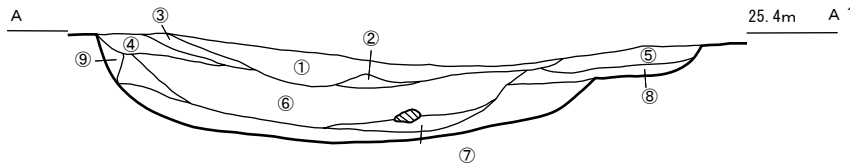
10m

方形周溝墓 SX04・SX07 (1 : 100)・遺物出土狀況 (1 : 20)

Plate 3

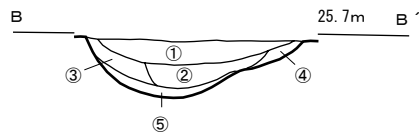


方形周溝墓 SX05・SX06 (1 : 100)・遺物出土狀況 (1 : 20)



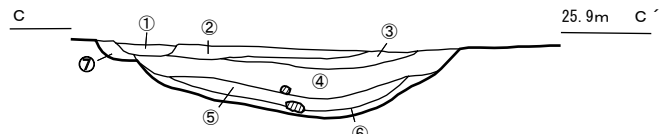
方形周溝墓SX04 周溝SD0208

- ① 7.5 Y R5/6 明褐色土・10 Y R5/6 黄褐色土が混ざる。炭化物・細礫を含む。
- ② 10 Y R4/3 にぶい黄褐色粘質土。
- ③ 10 Y R4/4 褐色砂質土。
- ④ 10 Y R5/4 にぶい黄褐色砂質土・10 Y R5/6 黄褐色砂質土。
- ⑤ 10 Y R4/6 褐色土。炭化物・細礫を含む。
- ⑥ 10 Y R3/4 暗褐色粘質土。炭化物・土器を含む。
- ⑦ 10 Y R4/3 にぶい黄褐色シルト質土。炭化物を含む。
- ⑧ 10 Y R5/6 黄褐色土。
- ⑨ 10 Y R4/6 褐色土。
- ⑩ 10 Y R5/6 黄褐色土。
- ⑪ 10 Y R4/4 褐色土。10 Y R5/8 黄褐色砂質シルトのブロックが混ざる。炭化物を少量含む。



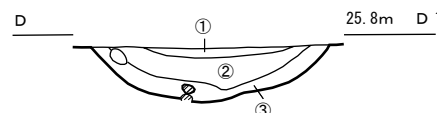
方形周溝墓SX05 周溝SD0206

- ① 10 Y R5/6 黄褐色粘質土。炭化物を含む。
- ② 10 Y R4/4・4/6 褐色粘質土。土器・炭化物を含む。
- ③ 10 Y R5/6 黄褐色粘質土。炭化物を少量含む。
- ④ 10 Y R5/6 黄褐色粘質土。
- ⑤ 10 Y R5/6 黄褐色粘質シルト。細砂・炭化物を含む。



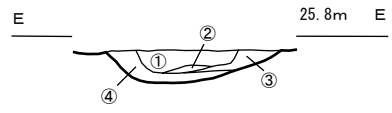
方形周溝墓SX05 周溝SD0206

- ① 10 Y R4/6 褐色砂質土。(耕作溝)
- ② 7.5 Y R5/6 明褐色土。
- ③ 10 Y R4/4 褐色土。炭化物を含む。
- ④ 10 Y R5/6 黄褐色粘質土。炭化物を少量含む。
- ⑤ 10 Y R5/4 にぶい黄褐色粘質土。
- ⑥ 10 Y R6/6 明黄褐色粘質土。
- ⑦ 10 Y R5/6 黄褐色土。



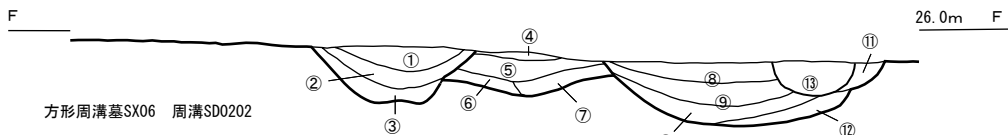
方形周溝墓SX05 周溝SD0211

- ① 10 Y R4/6 褐色土。
- ② 10 Y R4/4 褐色土。土器・炭化物を含む。
- ③ 7.5 Y R5/6 明褐色土。礫を含む。



土壇墓SX0207

- ① 10 Y R5/6 黄褐色粘質土。炭化物を含む。
- ② 10 Y R4/6 褐色粘質土。炭化物を含む。
- ③ 10 Y R4/4 褐色土。
- ④ 10 Y R4/6 褐色土。



方形周溝墓SX06 周溝SD0202

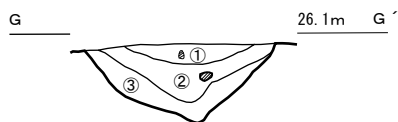
- ① 10 Y R4/4 褐色土。炭化物を含む。
- ② 10 Y R4/4・4/6 褐色土。炭化物を含む。
- ③ 10 Y R5/6 黄褐色土。10 Y R4/4褐色土のブロックが混ざる。炭化物を含む。

土坑SK0212

- ④ 10 Y R5/8 黄褐色土。
- ⑤ 10 Y R4/6 褐色土。
- ⑥ 10 Y R5/6 黄褐色粘質土。
- ⑦ 10 Y R4/6 褐色土。土器を含む。

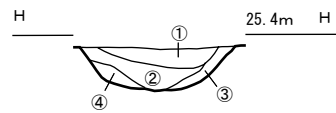
方形周溝墓SX05 周溝SD0206

- ⑧ 10 Y R4/4 褐色土。
- ⑨ 10 Y R5/6 黄褐色粘質土。
- ⑩ 10 Y R4/6 褐色粘質土。
- ⑪ 10 Y R5/6 褐色土。
- ⑫ 10 Y R5/6 褐色土・7.5 Y R5/8 明褐色土が混ざる。
- ⑬ 10 Y R5/6 黄褐色土。炭化物を含む。



方形周溝墓SX06 周溝SD0201

- ① 10 Y R4/6 褐色土。土器・炭化物を含む。
- ② 10 Y R4/4 褐色土。土器・炭化物を含む。
- ③ 10 Y R4/6 褐色土。



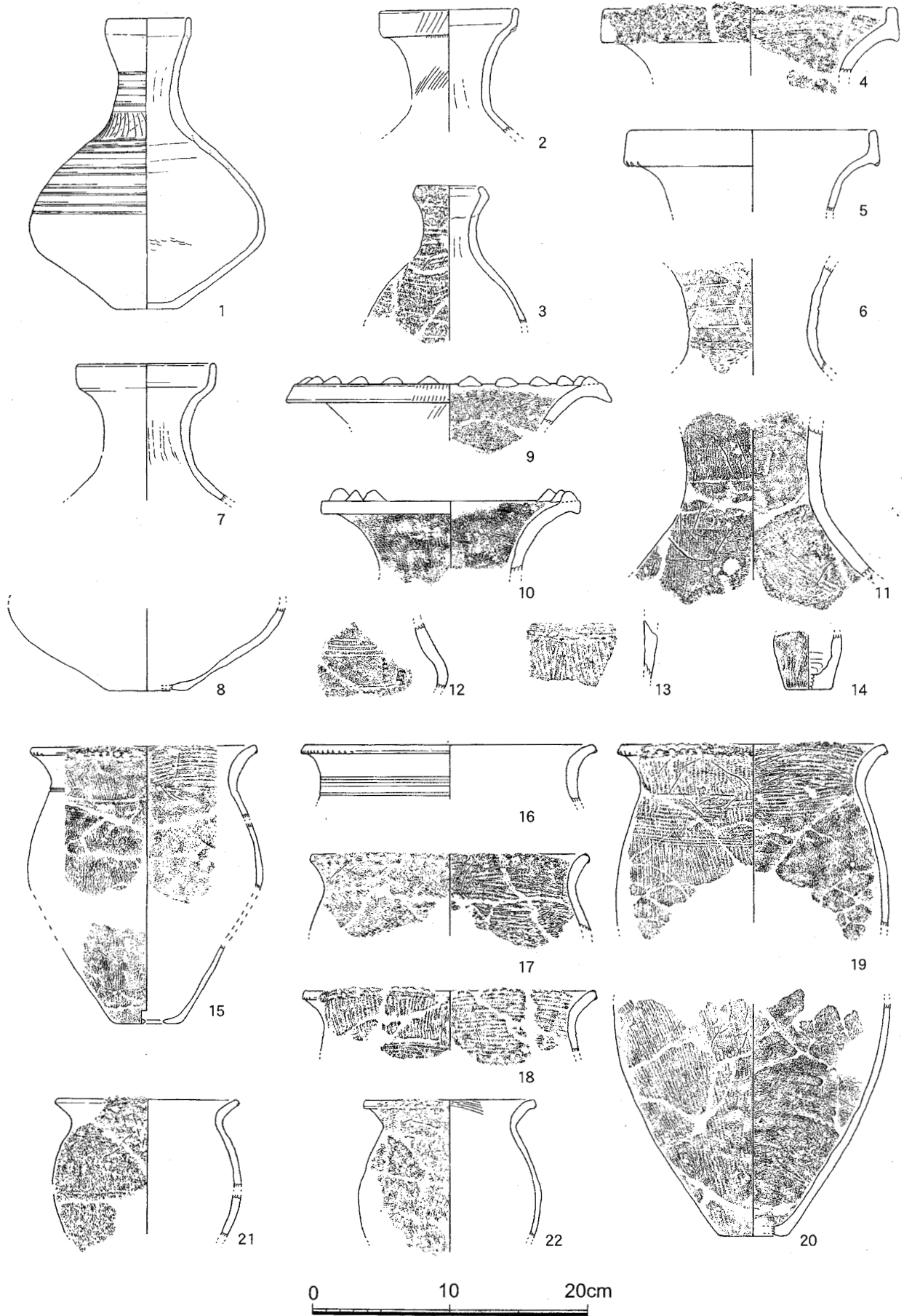
方形周溝墓SX07 周溝SD0209

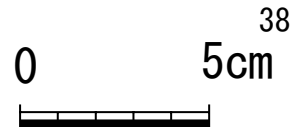
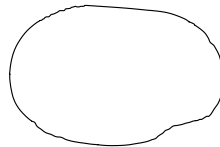
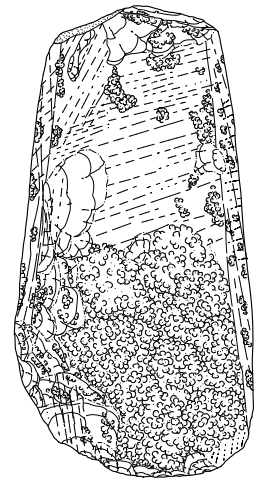
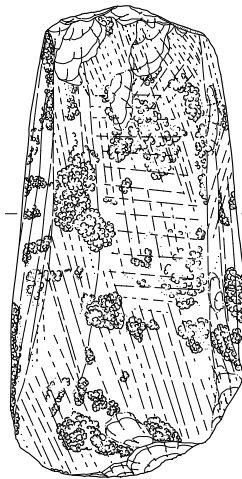
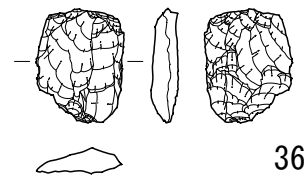
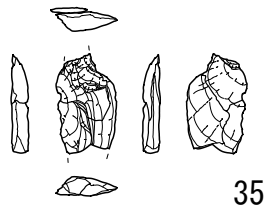
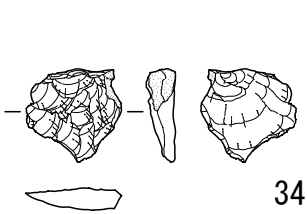
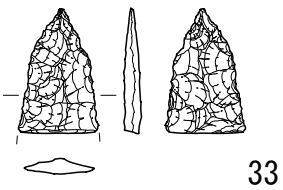
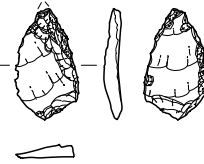
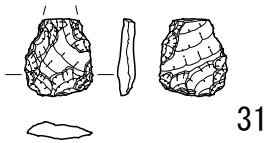
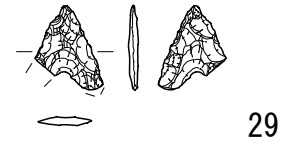
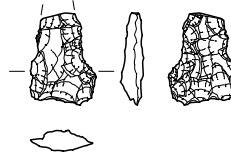
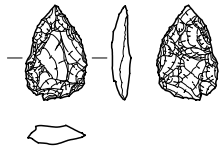
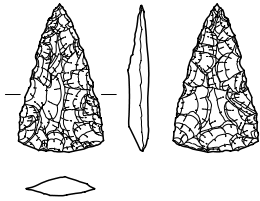
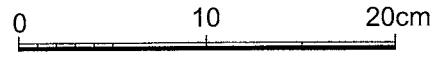
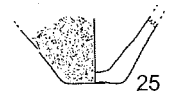
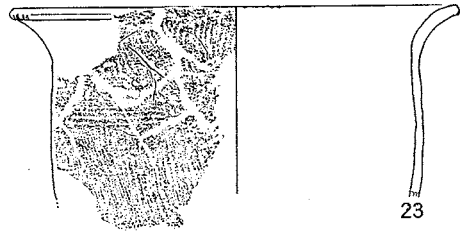
- ① 10 Y R4/4 褐色土。炭化物・土器を含む。
- ② 10 Y R4/6 褐色土。
- ③ 10 Y R5/6 黄褐色土。
- ④ 10 Y R5/6 黄褐色土。



遺構断面図 (1 : 50)

Plate 5







方形周溝墓 SX05・SX06 (南東から)



方形周溝墓 SX05 (東から)



周溝 SD0206 遺物出土状況 (南から)



周溝 SD0206 C-C' 断面 (西から)



周溝 SD0206 B-B' 断面 (南西から)



方形周溝墓 SX06 (南東から)



周溝 SD0201 遺物出土状況 (西から)



周溝 SD0201 断面 (北から)



周溝 SD0202 遺物出土状況 (西から)



方形周溝墓 SX07 (北東から)



周溝 SD0209 遺物出土状況 (南から)



周溝 SD0210 遺物出土状況 (南西から)



周溝 SD0208 断面 (西から)



土壇墓 SX0207 断面 (北東から)

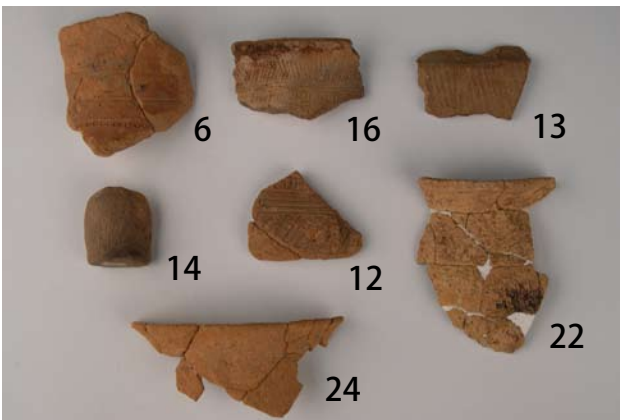
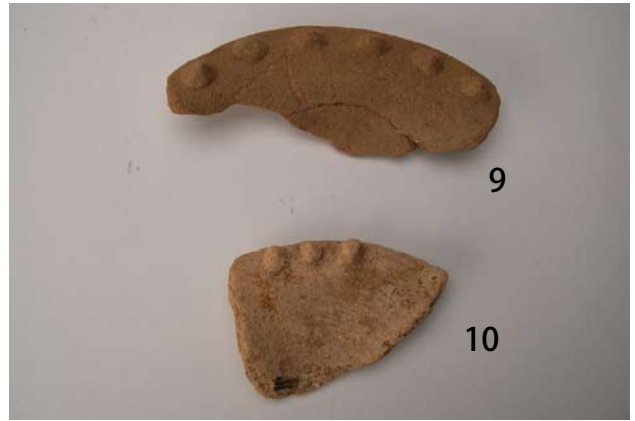
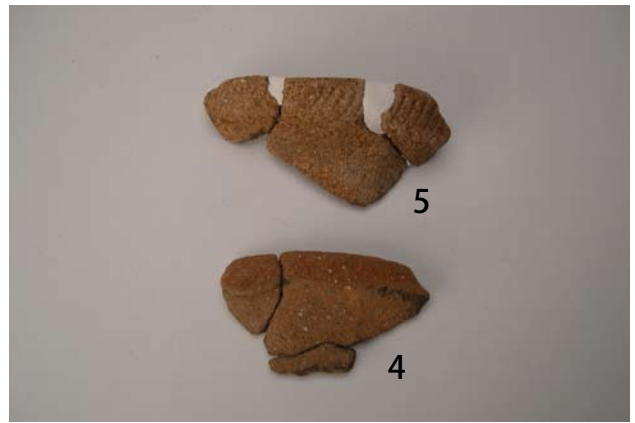


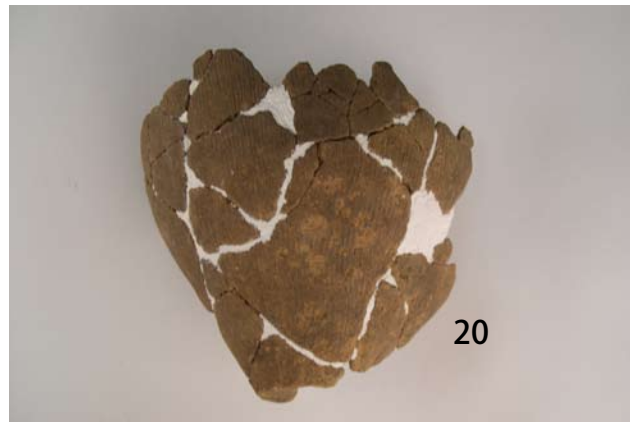
作業風景 (北東から)



現地説明会 (南から)

Plate 9





報告書抄録

Tab.2

ふりがな	ちょうぼうじいせき だいにじはっくつちょうさ							
書名	長法寺遺跡 第2次発掘調査							
編著者名	吉田 真由美							
編集機関	鈴鹿市考古博物館							
所在地	〒513-0013 三重県鈴鹿市国分町224番地 TEL059(374)1994							
発行年月日	西暦2006年3月31日							
所収遺跡名	所在地	コード		北緯	東経	調査期間	調査面積	調査原因
		市町村	遺跡番号					
ちょうぼうじいせき 長法寺遺跡	鈴鹿市長法寺町	24207	386	34°	136°	20050425	694.6㎡	福祉施設建設
	字権現763		805	49′	30′	～		
					36″	29″	20050706	
	種別	主な時代	主な遺構		主な遺物		特記事項	
		弥生時代	方形周溝墓, 溝, 土坑, 小柱穴		弥生土器, 土師器, 須恵器, 石鏃, 石斧, 剥片		1次調査に続き, 方形周溝墓を 検出。	

Chobiji Site 2nd Excavation Report
Suzuka City, Mie Pref., Japan

March, 2006

Suzuka Municipal Museum of Archaeology